

振興基本計画 地区提案事業検討シート

平成25年度

No. _____

No.	分類	提案地区	提案事業	事業内容	担当課	関連部局
179	歴史・文化・教育	内海	資料館のPR強化	・資料館の整備、HP、パンフレット等の改訂等	社会教育課	

I 実現性の検討

【判定欄】○:解決可能 ×:解決不可能 △:判断できない を記入してください。

	課 題	判 定	理由又は対応策	実現性判定	
実現可能性	□法規制	—		1 実現可能 2 実現の可能性が高い ○ 3 条件次第で実現可能 4 実現に相当の困難を伴う 5 実現不可能	
	□財政		PRのみなら解決可能と思われるが、PRするには施設整備は必ず求められる。その要望に応えるため、新資料館建設か、資料移転か、いずれにしても多額の経費を要する		
	□実施主体	町	○		
	□住民合意		—		
	□その他	PRに伴う資料館の受け入れ体制等の検討	×		PRすれば、資料館で常駐する職員の配置が求められる。現状では不可能。
			—		

II 有効性の検討

【判定欄】○:有効性が高い ×:効果がない、又はきわめて低い △:判断できない を記入してください。

	項目番号	関連する施策又は生活課題	判 定	対 策	有効性判定
有効性	□事業効果	総計 521-③ 541-②		生涯学習施設の整備	1 きわめて効果が高い ○ 2 効果が高い 3 効果が認められる 4 ほとんど効果が認められない 5 効果がない
	□生活効果	生活 12、14		生涯学習の機会、文化財に触れる機会の増加	

III 総合評価

	評価・判断に係るコメント（緊急性、関連性について、特に考慮すべき点など）	事業区分	総合評価
総合	郷土資料館には貴重な資料が多く、他市町村からの来館者等から整備、PR強化の要望が多数寄せられているという現状がある。今後、HPやパンフレットの改訂等を通して、現在の資料館のPRに努めていくとしても、老朽化した建物の問題、現状の職員配置の問題などがあり、現状では入館者に対して良好な対応が十分にできず、大きな効果も期待できない。なお、本町所蔵の民俗資料は、知多半島の中でも大変貴重なものが多く、良好な状態で後世に残していくため、専用の保存・収蔵施設の整備が必要であるとする。町としては、山海ふれあい会館への移転を画策したが、建築基準法等の規制などの問題もあり棚上げとなっている。本来であれば、他の目的で建設された施設ではなく、当初から保存・収蔵・展示する目的に沿って、専門的な施設の新築が望ましいが、財政的な問題もある。今後、学校統廃合の進捗、既存施設の活用、新たな施設の建設など様々な観点での検討が必要である。	1 地区重点事業 2 緊急主要事業 3 他事業関連事業	総合A・・・有効性・実現性ともに優れている事業（いずれも1又は2） 総合B・・・有効性・実現性のいずれかが優れている事業（いずれかが1又は2） 総合C・・・実現性・有効性ともに低い事業（上記以外）

B